山陰線淀江駅からバー「アメノマナイ」とは、清浄な水に付けられる最大級の敬称であり スで10分さらに徒歩 | 幅15m、奥行 5 mほどの清水の湧く美しい池を源とした水域は、地 域の人々に利用され、大切に管理されている。

(2) 因伯の名水 (昭和60年6月選定及び平成2年12月県追加選定)

区分(注)	名 称	所 在 地 (交 通)	水の形態	概 要
暮	開呂の清水	八頭郡八東町用呂 (若桜鉄道丹比駅からバスで10分 さらに徒歩5分)	湧 水 (3,000㎡/日)	清澄な湧水で今でも、地区住民の生活用水として大切に保全、 活用されており、また、重要なかんがい用水の一つでもある。
b	布勢の清水	気高郡気高町殿 (山陰線浜村駅からバスで15分)	湧 水 (1,000㎡/日)	「布勢平神社」の境内の岩の下から清冷な湧水が湧き出しており、今も地域の生活用水として活用されている。
しの中	,のじぞり 宇野地蔵「ダキ」	東伯郡羽合町宇野 (山陰線倉吉駅からバスで25分)	湧 水 (70㎡/日)	経文の彫られた巨岩と地蔵三体を祭る法華堂があり、その中に ある「ダキ」と通称される湧水で地蔵盆行事などで親しまれて いる。
中の景	世蔵滝の泉	西伯郡岸本町丸山 (伯備線岸本駅からバスで15分 さらに徒歩 2 km)	湧 水 (30,000㎡/日)	数箇所から湧水が湧き出しており滝地蔵が祭られている。水道 水源、かんがい用水に利用され、セリ、クレソンの栽培を行なっ ている。
	本宮の泉	西伯郡淀江町本宮 (山陰線米子駅からバスで20分 さらに徒歩10分)	湧 水 (15,000㎡/日)	水源一帯はめずらしい亜熱帯性のクリハフン等が群生しており、 豊富な湧水は、生活用水、ニジマス、アマゴの養殖に利用され ている。
	多鯰ケ池	鳥取市覚寺 岩美郡福部村湯山 (山陰線鳥取駅からバスで20分)	湖 沼	鳥取砂丘に近く、ボート遊び、角釣りなど観光客をはじめ、多 くの人々に憩いの場として親しまれている伝説の池。
ふれ	学 代	八頭郡用瀬町 (因美線用瀬駅から徒歩で5分)	河 川	千代川の清流が岸辺を洗うこの水域は江戸時代から続いている 流しびなの里として、町民の心の清流であり、釣人、ドライバー の憩いの場となっている。
あいの	山 王 滝 水 域	八頭郡佐治村中 (山陰線鳥取駅からバスで60分 さらに徒歩5分)	河 川	山王滝を中心とした自然性豊かな美しい水辺には、キャンプ場、 遊歩道などが整備され、特に夏、秋は多くの人々が訪れている。
本	大 山 池	東伯郡関金町泰久寺 (山陰線倉吉駅からバスで40分 さらに徒歩10分)	湖 沼	静かな湖面に表大山と蒜山三山がうつる美しい景観は四季を通じ人々に親しまれ、特に夏はボート、カヌーを楽しむ人でにぎ わう。

通

3分

_							
辺	大	野	池	西伯郡大山町飯戸 (山陰線大山口駅からバスで20分 さらに徒歩10分)	湖	沼	湖岸は水際から広がりをみせて野原となって松林に連なり、山 腹にいだかれた美しい湧水の池で四季を通じ訪れる人々が多い。
	鵜	の	池	日野郡日野町下黒坂 (伯備線黒坂駅から4.2km)	湖	沼	標高400mの山頂にある周囲4kmの美しい池で、公認のオリエンテーリングコースをはじめ、春の鵜の池マフソンなど人々のよれあいの場となっている。又、周辺は野鳥の天国である。
歴		雏取	jγb ∭	東伯郡三朝町三徳山 (山陰線倉吉駅からバスで30分)	河	JII	霊場三徳山の雨水を集めて流れる清流。昔、参拝者がこの水で 身を清めて入山したと伝えられる「身清めの滝」がある。
史の	关	o) 皇	水水	東伯郡赤碕町高岡 (山陰線赤碕駅からバスで15分)	———— 湧 (水 500㎡/日)	後醍醐天皇が隠岐島から京都に還御の途中、天皇の指さされた 岩を起こしたところ、泉が湧き出したと伝えられる。今も地域 の生活用水として使用されている。
水	赤	公 の	池	西伯郡大山町池ノ原 (山陰線大山口駅からバスで16分 さらに徒歩20分)	湖	沼	古くから雨ごいや、幸福を成就する女蛇神が住むと広く言い伝えられた伝说の池。
	あま た 雨 ?	電災	公谷	岩美郡国府町雨滝 (山陰線鳥取駅からバスで45分 さらに徒歩 2 km)	河	JII	(雨滝川…雨滝を中心に上、下流300m及び仏谷川上流300m程度)水量豊富な滝を有する渓谷は景観がすばらしく、自然性に富み、キャンプ、避暑地、紅葉など訪れる人が多い。
\$	<u>*</u>	危	渓	八頭郡河原町北村 (山陰線鳥取駅からバスで20分 さらに徒歩30分)	河	וון	(曳田川・千丈滝から下流3 km程度の間) 変化に富んだ滝の数々、絶壁と奇岩の間を流れる美しい渓流は、 四季を通じて人々に親しまれている。
るさ	諸	が ・ バ ・ バ ・ バ ・ バ ・ バ ・ バ ・ バ ・ バ	い谷	八頭郡若桜町諸鹿 (若桜鉄道若桜駅からバスで20分)	河	Щ	(来見野川・諸鹿部落から上流 5 km程度) 溶岩流で出来た岩や諸鹿七滝と称される滝々の奇観が続き、一 帯にブナ、トチの自然林が広がる景観がすばらしい。
٤	芦	津	災	八頭郡智頭町芦津 (因美線智頭駅からバスで20分 さらに徒歩30分)	河	Щ	(北肢川・三滝を中心とした上、下流4km程度) 芦津自然保護林の中を流れる水量豊富な渓流で、新緑から紅葉 まで、キャソプ、釣りなど訪れる人が多い。
の渓	まず 動	谷川流	域	気高郡青谷町原谷 (山陰線青谷駅からバスで10分)	河	Щ	(不動谷川・不動山入り口から妙円滝の間1km程度) 趣きを異にした三つの美しい滝を有する自然性豊かな渓流であり、新緑から紅葉までキャンプ、ハイキングに訪れる人が多い。
流	*	鹿	渓	東伯郡三朝町中津〜神倉 (山陰線倉吉駅からバスで50分 さらに徒歩30分)	河	Л	(小鹿川・中津ダムから神倉の間 3 km程度) 昭和12年、文部省の「名勝地」に指定。深い緑色の水流に美し い景観が映え、心のやすらぎを覚える。
	岩	かで良	渓	日野郡日南町生山 (伯備線生山駅から徒歩で15分)	河	اال	(石見川…生山から上流3km程度) 奇岩、怪岩の名所として古くから知られ、特に春のつつじ、秋 のもみじの景観のすばらしい渓流である。

(注)暮らしの中の泉・・昔から地域の人々の日常生活に深いかかわりを持ってきた湧水等で住民の保全管理によって大切にされ現在に引きつがれているもの。 ふれあいの水辺・・きれいな水や水辺を保つために努力されており、人々が水とふれ合い水に親しむことによって心に安らぎを与える憩いの場としての水環境。 歴 史 の 水・・本県の歴史や伝说にふさわしい故事来歴を有するもの。

ふるさとの渓流・渓流の中でも特に自然美豊かで、後世に残しておきたい水域で併せて観光などの親水性のあるもの。

資料34 鳥取市内	各水沟	丰点沈	下量0	り経年	変化															〈単位	cm>
水準点番号	029 119	009 209	(1)	029 118	1067	(3)	1068	(2)	(4)	029 116	1121	1066	(5)	053 133	「建」	029 117	(7)	(8)	009 210	(9)	(10)
所 在 地	田園町	松二丁四	寿町	西 五 丁町 目	本一丁町目	行	新品	吉方温泉	幸町	吉方温泉	立四川 丁町	吉成	富安	今二丁町目	田園丁目	庖丁人町	秋里	江津	安長	秋 里	秋里
昭和50~53年度の沈下量	15.40	8.04	8.29	7.21	6.76	5.39	治 3.44	3.35	1.81	1.41	1.27	1.24	1.52	1.20	(S53)		=	-	- X		<u> </u>
(S49.6~53.7) 昭和54年度の沈下量	(3.77)	(1.97)	(2.03)	(1.77)	(1.66)	(1.32)	(0.84)	(0.82)	(0.44)	(0.35)	(0.31)	(0.30)	(0.37)	(0.29)	(设置)	(S54測)				_	
(S53.7~54.7) 昭和55年度の	3.66	2.37	1.64	1.29	1.00	0.78	0.49	0.67						(亡失) {S54}	8.47	量開始	(S55)	(S55)	(S54測)	(S55)	{ S 55
(854.7~55.7)	3.80	1.13	1.09	1.20	0.62	0.48	0.25	0.15	(0.50.5)	(0.50.5)	(0.50.5)	(0.50.7)	(0.50.5)	再設	5.38	0.42	设置	(設置)	量開始	(設置)	設置
昭和56年度の沈下量 (S55.7~56.7)	2.61	1 40	1 00	1.26	0.89	0.81	0.51	0.31		(~56.7) 0.68	$ \begin{bmatrix} S 53.7 \\ \sim 56.7 \end{bmatrix} $ 0.76		S 53.7 ~56.7 0.38	0.22	4.45	0.45	4.36	3.84	2.42	1.74	1.46
昭和57年度の沈下量		1 43	1.28						(0.17)	(0.23)	(0.25)	(0.24)	(0.13)		ļ	 		 			
$($56. 7 \sim 57. 7)$	2.25	0 55	0.96	0.49	0.46	0.22	0.94	0.14	+0.04	0.22	0.03	0.05	0.01	+0.13	2.73	0.26	2.90	2.57	1.62	0.70	0.77
昭和58年度の沈下量 (S57.7~58.7)	1.16	1.03	0.55	0.35	0.33	0.46	0.12	0.19	0.33	0.09	+0.13	0.29	0.22	0.16	2.28	0.16	2.56	2.37	1.36	0.68	1.18
昭和59年度の沈下量 (S58.7~59.7)	1.02	0.59	0.52	0.44	0.21	0.23	0.24	0.09	0.04	+0.02	0.02	0.07	0.01	0.04	2.20	0.09	2.37	2.19	1.26	0.92	1.10
昭和60年度の沈下量 (S59.7~60.7)	0.67	0.37	0.43	0.23	0.35	0.18	0.07	0.10	+0.03	0 13	0.13	+0.06	+0 05	+0.12	1.37	0.14	1.94	1.67	0.92	0.31	0.55
昭和61年度の枕下量 (S60.7~61.7)	0.85	0.60	0.60	_	0.45	-	-	_	-	_	-	-	-	_	1.52	-	1.77	1.75	1.16	0.63	0.79
昭和62年度の沈下量 (S61.7~62.7)	0 65	0.33	0.46	_	0.39	-	-	_	_	-	_	_	-	-	1.18	_	1.30	1.24	0.80	0.37	0.51
昭和63年度の	0.55	0.29	0.31	-	0.20	_	-	_	-	-	-	-	_	-	1.05	_	1.33	1.16	0.96	0.36	0.66
平成元年度の次下量 (S63.7~H元.7)	0 73	0.67	0.35	-	0.16	-	-	_	_	_	-	-	-	_	1.11	-	1.59	1.52	1.01	0.75	1.07
平成2年度の沈下量 (H元.7~2 7)	改 埋 再測量	0.22	0.31	_	0.14	1	-	-	_	_	_	-	-	-	0.83	-	1.27	1.04	0.68	0.40	0.45
平成3年度の沈下量 (H2.7~3 7)	0.41	0.32	0.41	1	0.12	-	-	-	-	_	-	-	-	-0.83	j	1.19	0.82	0.68	0.12	0.38	
平成 4 年度の 次下量 (H 3 7~4 7)	0.48	0.51	0.15	1	0.09	-	-		-	_	-	-	-	_	0.60	-	0.94	0.88	0.83	0.47	0.54
平成 5 年度の沈下量 (H 4 7~5 7)	0.53	0.58	0.32	-	0.18	_	-	_	-	_	-	-	_	- :	0.79	_	1.10	0.89	0.78	0.41	0.49
平成 6 年度の 次下量 (H 5 7~6 7)	0.14	0.09	0.03	-	+0.01	-		-	_	_	-	-	-	-	0.21	-	0.74	0.50	0.48	0.00	0.17
平成7年度の枕下量 (H6 7~7.7)	0.43	0.53	0.78	_	0.13			-	-	_	-	-	_	-	0.74	-	1.14	0.92	0.67	0.33	0 81
平成 9 年度の沈下量 (H 7 7~9.7)	0.74 (0.37)	0.54 (0.27)	0.61 (0.31)	_	$^{+0.04}_{(+0.02)}$	-		_	-	_	-	-			1.10 (0.55)	-	1.47 (0.74)	1.61 (0.81)	0.92 (0.46)	(亡失)	0.62 (0.31)
(S49. 6)				$\begin{pmatrix} $49.6 \\ \sim 60.7 \end{pmatrix}$		$\begin{pmatrix} $49.6 \\ \sim 60.7 \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} $49.6 \\ \sim 60 7 \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} $49.6 \\ \sim 60.7 \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} $49.6 \\ \sim 60.7 \end{pmatrix}$		$\begin{pmatrix} $49.6 \\ \sim 60.7 \end{pmatrix}$			(S55.7) ~H9.7)	(S55.7) ~H9.7)		(S55.7) ~H9.7)	(S 55.7 ~H7.7			
計 (〜H9.7) の沈下量	36.08	20.19	19.09	12.47	12.43	8.55	6.06	5.00	2 62	2.51	2.08	2.30	2.09	1.87	36.84	1.52	27.97	24.97	16.55	8.19	11.55
注 1) 沈下量の()は1	年間の沈	下量に換	算したもの	D 2)	- は 1	U量休止	3) ₹	北下量の-	⊢は隆起	たもの	4)0	29-119は	平成2年	度に水準	点が改埋	されたた	め累計の	値として	いる。	

資料35 鳥取県の優れた地形 地質

1 火山とその山地

項目	所 在 地	概 要
1 扇ノ山火山	岩美郡国府町、 八頭郡郡家町・ 若桜町・八東町	第四紀更新世の玄武岩質火山群
2 河合谷高原· 広留野	岩美郡国府町•岩美町、 八頭郡八東町	扇ノ山火山の溶岩流がつくる高原
3 一向平~ 大山滝~地獄谷	東伯郡東伯町	大山火山の古期噴出物を侵食する渓谷と大山滝
4 船上山屛風岩	東伯郡赤碕町	船上山を形成する古期大山溶岩流
5 笹ケ平火砕流の つくる火砕流台地	日野郡江府町、 東伯郡関金町	大山火山の新期火砕流堆積物がつくる平坦面
6 大山	西伯郡大山町·中山町、 東伯郡東伯町·赤碕町、 日野郡江府町	西日本の代表的な火山
7 鍔抜山	西伯郡大山町	大山の側火山
8 豪円山	西伯郡大山町	大山の側火山
9 孝霊山	西伯郡大山町• 淀江町	大山の側火山
10 大ズッコ	岩美郡国府町 他	火山砕屑丘
11 弥山	西伯郡大山町	大山の主峰
12 三鈷峰	西伯郡大山町	大山の中央部の山地
13 船上山	東伯郡赤碕町	溶岩台地
14 勝田ケ山	東伯郡赤碕町	溶岩台地
15 矢筈ケ山	東伯郡赤碕町	溶岩台地
16 鈑戸山	西伯郡大山町	大山の側火山
17 鳥ケ山	日野郡江府町	大山南方の火山

2 非火山山地

項 目	所 在 地	概 要
1 金峯山と無処	要炭 岩美郡岩美町	新第三系の流紋岩質~石英安山岩質火砕岩からなる眺望の よい独立峰
2 駟馳山	岩美郡岩美町	海岸の孤立峰、新第三系の駟馳山砂岩泥岩層と鮮新世火山 岩類
3 久松山	鳥取市	花崗岩と玄武岩からなる鳥取市のシンボル的非火山山地
4 因幡三山	鳥取市、 岩美郡国府町	因幡国国府を囲む歴史的な孤立峰、今木山・甑山・面影山
5 霊石山	鳥取市、八頭郡 河原町・郡家町	鲜新世の玄武岩溶岩がつくる台地
6 那岐山	八頭郡智頭町	中生代白亜紀火山岩類の山地

項目	所 在 地	概 要
7 三角山(頭巾山)	八頭郡用瀬町	花崗岩の三角状の急傾斜山地
8 波多ノ台 (黒岩高原)	八頭郡智頭町• 用瀬町	準平原の高原
9 鷲峰山	鳥取市、 気高郡鹿野町	第三紀層で形成された孤立山地
10 三徳山	東伯郡三朝町	鮮新世三朝層群の火山岩類がつくる山地、風穴
11 打吹山	倉吉市	倉吉市のシンボルである白亜紀流紋岩からなる円錐状の孤 立丘
12 若杉山	東伯郡三朝町	準平原遺物として山頂平坦面をもつ山地
13 米子城山	米子市	大型の高温石英を産する新第三紀の流紋岩でつくられた米 子市のシソボル的孤立丘
14 粟島	米子市	もとは中海にあった孤立丘が近世に砂州とつながった
15 金華山	西伯郡西伯町·会見町、 日野郡溝口町	集塊岩質の孤立丘
16 三平山	日野郡江府町	古い火山タイプのドーム状孤立山地
17 鎌倉山	西伯郡西伯町	非火山性の好展望点
18 花見山	日野郡日南町	準平原遺物としての残丘
19 大倉山	日野郡日南町	準平原遺物としての残丘
20 稲積山	日野郡日南町	準平原遺物としての残丘
21 道後山	日野郡日南町	準平原遺物としての山頂平坦面をもつ山地
22 船通山	日野郡日南町	白亜紀流紋岩と花崗岩とからなる山地
23 吉岡断層	鳥取市	昭和18年の鳥取地震の時、再活動した断層
24 鹿野断層	気高郡鹿野町	昭和18年の鳥取地震の時、再活動した断層
25 岩坪断層	鳥取市	河合に沿った東西性の断層

3 河川 湖沼(峡谷 滝 段丘)

項目	所 在 地	概 要
1 唐川湿原	岩美郡岩美町	国の天然記念物に指定されたカキツバタ群落と湿原堆積物 の泥炭層
2 雨滝	岩美郡国府町	扇ノ山東北部の名瀑
3 大鹿滝	八頭郡若桜町	扇ノ山南部の滝
4 三滝	八頭郡智頭町	東山・沖ノ山西部の滝
5 千畳滝	八頭郡河原町	高山・高鉢山付近の比高の大きい滝
6 亀滝	八頭郡佐治村	佐治川に流下する滝
7 諸鹿峡谷	八頭郡若桜町	大鹿滝の下流の峡谷
8 眷米峡谷	八頭郡若桜町	氷ノ山西方の峡谷

項目	所 在 地	概 要
9 芦津渓谷	八頭郡智頭町	機 要 三滝に代表される渓谷美と河床のおう穴、花崗岩中の捕獲 岩
10 多鯰ケ池	鳥取市、 岩美郡福部村	鳥取砂丘に隣接する、中国地方では面積に比して最も深い 池
11 湖山池	鳥取市	日本一の池として有名な潟湖
12 青島	鳥取市	湖山池に浮かぶ離れ島
13 松上峡谷	鳥取市	河岸段丘を刻む野坂川の峡谷
14 岩坪のおう穴	鳥取市	河床に形成されたおう穴群
15 三滝渓	八頭郡河原町	千畳滝から杣小屋までの渓谷には滝が多い
16 猿渡渓谷	八頭郡佐治村	曲流する峡谷と佐治川石
17 安蔵川渓谷	八頭郡用瀬町	長戸呂橋付近の渓谷美がよい
18 鳴滝	気高郡青谷町	容岩台地の急崖に懸かる滝
19 東郷池	東伯郡東郷町・ 羽合町	海岸砂丘にせき止められた海跡湖
20 三朝渓谷	東伯郡三朝町	三徳山の北に流れ、渕と瀬の地形が多い
21 小鹿渓谷	東伯郡三朝町	花崗岩に形成された渕、滝の多い渓谷
22 太郎田渓谷	東伯郡三朝町	花崗岩質の渓谷
23 天神野	倉吉市、 東伯郡関金町	小鴨川流域に発達する段丘群
24 甲川渓谷	西伯郡中山町	峡谷美があり、多くの滝、瀬がある
25 地獄谷渓谷	東伯郡東伯町	溶岩・火砕流堆積物と大山滝、大休滝、鮎返りの滝などが ある
26 俣野川上流渓谷	日野郡江府町	南大山の曲流する渓谷
27 大山滝	東伯郡東伯町	多段滝であり、名瀑である
28 千丈滝	東伯郡赤碕町	比高が100mの滝
29 鱒返しの滝	東伯郡赤碕町	多段滝
30 溝口南方の火砕流 地形と段丘	日野郡溝口町	日野川にまたがる大山の火砕流と二段の河岸段丘
31 石霞渓と 花崗岩山地	日野郡日南町	方状節理の発達した花崗岩の断崖と巨石・奇岩・淵をもつ 渓谷
32 鵜の池と高原面	日野郡日野町	古い段丘と池

4 海岸 砂丘

項目	所 在 地	概 要
1 羽尾岬	岩美郡岩美町	海食崖と海食洞
2 浦富海岸	岩美郡岩美町	海食崖と海食洞
3 鳥取砂丘	鳥取市、 岩美郡福部村	海岸砂丘の典型、火山灰層によって二分された更新世の砂 丘と完新世の砂丘

	項目	所 在 地	概 要
4 É	白兎海岸	鳥取市	因幡の白兎伝説で知られる砂浜海岸、波食棚
5 長	長尾鼻	気高郡青谷町・ 気高町	広い岩棚をもつ海食崖
6 淮	白海岸	東伯郡泊村	ポットホールと波食棚
7 킈	比条砂丘	東伯郡北条町· 羽合町·大栄町	県下で第二の規模をもつ海岸砂丘と縄文〜江戸時代の長瀬 高浜遺跡
8 名	呂和町の礫浜	西伯郡名和町	大山系の古い堆積物が海で侵食された干潟
9 =	号ケ浜砂州	米子市、境港市	日本を代表する海岸砂州
10 彦	多名干拓地	米子市	泥質の浅瀬が人工でつくられ、水鳥の飛来地
]	内浜砂丘	境港市	古い砂丘があり、弓浜の古い人類居住地
12 [[]	鳥取県下に 分布する鳴り砂	県下の砂浜海岸	清浄な砂粒からなる砂浜海岸

5-1 地質 先新第三系

	項 目	所 在 地	概 要
1	山志谷 周辺の志谷層	八頭郡八東町	三郡変成帯を構成する結晶片岩
2	不香田の八東層	八頭郡若桜町	県南東部にひろく分布する三郡変成岩
3	角谷周辺の角谷層	八頭郡若桜町	中生代三畳紀~ジュフ紀の堆積岩層
4	大江川 上流の片麻岩	日野郡溝口町	日本列島の基盤である飛驒帯の西方延長として新たに発見 された片麻岩
5	智頭花崗岩	八頭郡智頭町	中生代白亜紀末期の大規模貫入岩体
6	県中部の 鳥取花崗岩	倉吉市、 東伯郡東郷町・ 三朝町 関金町	鳥取県の代表的な花崗岩

5-2 地質 新第三系

	項目	所 在 地	概 要
1	郡家礫岩層	岩美郡国府町	郡家町を模式地とし、鳥取県の代表的中新統である鳥取層 群の基底礫岩層
2	河原火砕岩層	岩美郡国府町	河原町を模式地とする鳥取層群下部累層の主要部層
3	円通寺礫岩砂岩層	鳥取市	鳥取市円通寺を模式地とする鳥取層群中部累層の基底礫岩 層
4	普含寺泥岩層	岩美郡国府町	国府町普含寺を模式地とし、化石を多産する鳥取層群中部 累層の代表的地層
5	小田安山岩層	岩美郡岩美町	岩美町小田を模式地とする鳥取層群上部累層の一部層
6	荒金火砕岩層	岩美郡岩美町	岩美町荒金を模式地とする鳥取層群上部累層の一部層
7	淵見の石英閃緑岩	八頭郡若桜町	石材として利用された鳥取層群に貫入する中新世の深成岩 類
8	鉢伏山安山岩	東伯郡東郷町	県中部の三朝層群の溶岩流と今滝

5-3 地質 第四系

	項目	所 在 地	概 要
1	大河内の大山 最下部火山灰層	倉吉市	大山最下部火山灰層の模式露頭
2	鴨ケ丘周辺の大山上部・ 中部火山灰層	東伯郡関金町	大山上部・中部火山灰層の模式的分布地
3	荒田の大山 下部火山灰層	東伯郡関金町	大山下部火山灰層の模式的分布地
4	秋喜の 大山倉吉軽石層	倉吉市	大山火山灰層を代表する倉吉軽石の模式地
5	由良砂礫層	東伯郡東伯町・ 大栄町、倉吉市	大山北東麓の大扇状地とその構成層
6	<u></u>	倉吉市	高位段丘とその構成層
7	旧奈和付近 の名和火砕流	西伯郡名和町	大山北麓に流下した火砕流
8	弥山火砕流	西伯郡大山町	大山火山の最新期火砕流の一つ
9	鶴田玄武岩と 火山灰	日野郡溝口町、 西伯郡会見町	花崗岩地帯に噴出した玄武岩岩体と大山西方に分布する大 山松江軽石
10	泉の火山灰層	米子市	大山北西麓に分布する大山火山灰層と三瓶山起源の木次軽 石

6 化 石

	項目	所 在 地	概 要
1	"三郡変成帯"の魚 化石とコノドント	八頭郡船岡町	いわゆる三郡変成帯から発見された中生代三畳紀の化石
2	上地における普含 寺泥岩層と化石	岩美郡国府町	鳥取層群普含寺泥岩層の海成動物化石
3	巻米の中新世 化石と地層	八頭郡若桜町	鳥取層群諸鹿礫岩層の貝化石群集
4	辰巳峠層と 植物化石	八頭郡佐治村	西日本における中新世後期を代表する化石植物群
5	宝木亜炭層と 昆虫化石	気高郡気高町	白兎層中の泥炭層とネクイハムシ亜科を主とする昆虫化石
6	多里層の化石	日野郡日南町	中新世初期の貝化石群集と大型石灰質団塊
7	下花口層の化石	日野郡日南町	米河時代の寒冷気候をしめす針葉樹化石とそれを含む泥炭 層

7 岩石 鉱物 鉱床

項目	所 在 地	概 要
1 単口の "やしろみ	かげ" 八頭郡用瀬町	. 節理の少ない良質の石材で、県内最古期の花崗岩の一つである用瀬花崗岩
2 佐治川石	八頭郡佐治村	三郡変成帯の緑色岩で、岩石表面が凹凸富み山水風景を想 わせる鑑賞石
3 南田石	岩美郡福部村	」してすく人に強い行物
4 諸鹿石	八頭郡若桜町	- 淵見石英閃緑岩の接触変成を受けて普含寺泥岩層が堅く緻密になったもので硯の原石
5 人形峠鉱山	東伯郡三朝町	- 堆積型ウァン鉱床
6 山砂鉄鉱床	日野郡溝口町 日南町	• 風化した花崗岩類から採掘される真砂砂鉄鉱床で「たたら」の原料

8 温泉 湧水

項目	所 在 地	概 要
1 布勢の清水	気高郡気高町	1985年「因伯の名水」に指定された湧水
2 天の真名井	西伯郡淀江町	1985年「名水百選」に指定された湧水
3 本宮の泉	西伯郡淀江町	1985年「因伯の名水」に指定された湧水
4 吉岡温泉	鳥取市	国民保養温泉地に指定された単純透明泉
5 東郷・羽合温泉	東伯郡東郷町・ 羽合町	東郷池の湖中および周辺に湧出する温泉
6 三朝温泉	東伯郡三朝町	日本の高温温泉で最大のラドンを含有する自噴泉
7 皆生温泉	米子市	山陰地方最大の湧泉量を有する温泉

資料36 鳥取県の優れた植物

1 社 叢

項目	所 在 地	概 要
1 甘露神社社叢	岩美町陸上	スダジイ林、サンインカンアオイ
2 熊野神社社叢	岩美町浦富	タブノキースタジイ林
3 坂谷神社社叢	福部村栗谷	スダジイ林、ホソバーセジュズネノキ
4 南田神社社叢	福部村南田	スダジイ林、サンインカンアオイ
5 多鯰ヶ池弁財天社叢	福部村湯山	スダジイ林、クロキ、ヤブツバキ
6 高岡神社社叢	国府町高岡	ヤブツバキ林
7 宇倍神社社叢	国府町宮ノ下	シラカシ林
8 樗谿神社社叢	鳥取市上町	スダジイ林、モミ林
9 椎谷神社社叢	鳥取市覚寺	スダジイ林、アリドオシ
10 伏野神社社叢	鳥取市伏野	スダジイ、タブノキ
11 白兎神社樹叢	鳥取市内海	スダジイ林
12 松上神社のサカキ樹林	鳥取市松上	サカキ林、ウラジロガシ林
13 大野見宿禰命神社社叢	鳥取市徳尾	スダジイーモチノキ林
14 御熊神社社叢	鳥取市御熊	スダジイ、シラカシ、カゴノキ
15 矢矯神社社叢	鳥取市矢矯	スダジイ林
16 河内神社社叢	鳥取市河内	スダジイ林、カゴノキ、サツマイナモリ
17 意上奴神社社叢	鳥取市香取	スダジイ林、ウフジロガシ林
18 倉田八幡宮社叢	鳥取市馬場	タブノキ林
19 権現の森	河原町北村	アサダ林、ウラジロガシ林、ブナ
20 犬山神社社叢	用瀬町宮原	イヌブナ林、ツクバネガシ
21 金山神社社叢	佐治村余戸	ウフジロガシーアカガシ群落
22	智頭町大呂	ウラジロガシ林、ブナ
23 諏访神社社叢	智頭町智頭	ウフジロガシ林、ケヤキ
24 相屋神社社叢	青谷町青谷	スダジイ林
25 鷲峰神社社叢	鹿野町鷲峰	スダジイ林
26 波波伎神社社叢	倉吉市福庭	スダジイ、タブノキ
27 桜神社社叢	倉吉市桜	ヒメユズリハ林
28 花倉山笏賀神社社叢	三朝町笏賀	ヒノキーホンシャクナゲ群落
29 俵藤太の森	三朝町俵原	コナラーブナ林
30 今泉神社社叢	三朝町今泉	タブースダジイ林、サツマイナモリ、ムサシアブミ
31 松崎神社社叢	東郷町松崎	スダジイ林
32 逢坂八幡神社社叢	中山町松河原	スダジイ林、アリドウシ
33 中山神社社叢	中山町東積	ケヤキータブノキ林
34 日吉神社社叢	淀江町西原	タブノキ林
35 大神山神社奥宮のスギ林	大山町大山寺	スギ林、ブナ
36 長田神社社叢	西伯町馬場	スダジイーウラジロガシ林
37 金華山熊野神社社叢	西伯町八金	ウフジロガシ、クロバイ、ケヤキ、ヤマイハフ

項目	所 在 地	概 要
38 住吉神社社叢	西伯町大木山	ウフジロガシ林
39 和田御崎神社社叢	米子市大篠津	タブノキ林
40 粟島神社社叢	米子市彦名	シャシャンボ
41 楽楽福神社社叢	溝口町宮原	シラカシ林、タブノキ
42 熊野神社社叢	江府町俣野	ウラジロガシ林
43 根雨神社社叢	日野町根雨	シフカシ林、アオネカズラ
44 聖神社社叢	日野町黒坂	シラカシ林、モミ、ツガ
45 滝山公園の岩角地アカマツ林	日野町中菅	アカマツ林、ゲンカイツツジ
46 楽楽福神社社叢	日南町印賀	モミーミズナラ林
47 日谷神社社叢	日南町共栄	コナラ林、モミ
48 下阿毘縁神社社叢	日南町下阿毘縁	ウラジロガシーモミ林

2 一般樹林

項目	所在地	概 要
1 小羽尾のヒメユズリハ林	岩美町小羽尾	スダジイ、タブノキ、ヒメユズリハ
2 浦富海岸の海食崖クロマツ林	岩美町	
3 天神池周辺のブナ林	岩美町	ブナ林、イワカガミ(白花)
4 雨滝周辺の渓谷林・ブナ林	国府町雨滝	サワグルミートチノキ林、アサダ、ホンシャクナゲ
5 扇ノ山のブナ林	国府町	
6 久松山の城跡自然林	鳥取市東町	スダジイ林、アラカシ林
7 合ケ谷スリバチのクロマツ林	鳥取市浜坂	ハイネズ、ウメガサソウ
8 三滝渓の渓谷林	河原町	サワグルミ、トチノキ、ヒノキ、ホンシャクナゲ
9 洗足山の自然林	用瀬町	ヒメコマツ、ホンシャクナゲ、ヒノキ
10 高鉢山・北谷の自然林	佐治村	ブナ林
11 三王滝周辺の自然林	佐治村	ウラジロガシ、オオバクロモジ、ホンシャクナゲ
12 氷ノ山のブナ林	若桜町	
13 大鹿滝周辺の渓谷林	若桜町	サワグルミートチノキ林、ブナ林、オニシモツケ
14 三室山のブナースギ林	若桜町	
15 鳴滝山のブナースギ林	智頭町	
16 芦津渓の渓谷林	智頭町	トチノキ、ミズナフ
17 飯盛山のブナ林	青谷町	
18 船磯のスダジイ林	気高町船磯	スダジイ林、コバノチョウセンエノキ
19 鷲峰山のブナ林	鹿野町	ブナ林、カタクリ、ミスミソウ
20 打吹山の城跡自然林	倉吉市仲ノ町	スダジイ林、シラカシ、アサダ、オガタマノキ
21 四王寺山北面のウァジロガシ林	倉吉市北面	ウァジロガシ林、フウトウカズァ
22 羽衣石城跡のムクノキ林	東郷町羽衣石	ムクノキ林、アノドオシ
23 三徳山の自然林	三朝町	照葉-落葉連続樹林
24 小鹿渓の渓谷林	三朝町	トチノキ、カツフ、ヤマグルマ、ブナ

項目	所 在 地	概 要
25 船上山の自然林	赤碕町	アカマツ林、ブナ林
26 地獄谷の渓谷林	東伯町	サワグルミートチノキ林、ミズメ林
27 米子城跡の自然林	米子市久米町	タブーモチノキ林、カゴノキ林、スダジイ林
28 勝田ケ山のヒメコマツ群落	中山町	
29 甲川の移行群落林	中山町	ウァジロガシーアカガシ林、ミスミソウ
30 大山中腹の自然林	大山町	ブナ林
31 豪円山のミズナラーモミ林	大山町大山寺	
32 赤松池周辺のアカマツ林	大山町赤松	アカマツ林(植林)
33 日野川の崖地アラカシ群落	溝口町、江府町	ツクバネガシ
34 生山のアカマツ自然林	日南町生山	
35 石霞渓の渓谷崖地林	日南町生山	アフカシ、ウラジロガシ
36 船通山の自然林	日南町	ブナ林、イチイ

3 低木林 草原

	項 目	所 在 地	概 要
1	鳥取砂丘植生	鳥取市、福部村	コウボウムギ、ハマグルマ、ケカモノハシ
2	八本越のススキ草原	佐治村	
3	那岐山の低木林・草原	智頭町	サフサドウダン、―シキウツギ
4	田代高原の風衝草原	三朝町田代	ヒゲノガリヤス
5	高丸山のベードウダン群落	三朝町田代	ヒノキ
6	若杉山のススキ草原	三朝町	
7	鳥ケ山ミヤマハンノキ群落	東伯町	遺存群落
8	甲ケ山~矢筈ケ山の低木林	赤碕町、中山町	クロソヨゴーウフジロハナリノキ
9	大山山頂周辺の自然草原	大山町	ヒゲノガリヤス、クガイソウ、オオバギボウシ
10	大山のダイセンキャラボク純林	大山町	キャラボク
11	弓浜海岸の砂丘植生	米子市和田町	コウボウムギ
12	日野川のキシツツジ群落	日野町	岸本町~石霞渓
13	道後山山頂周辺の低木林 草原	日南町	イチイ シフタマノキ

4 湿 原

項目	所 在 地	概要
1 唐川湿原	岩美町唐川	カキツバタ、サワギキョウ
2 菅野湿原	国府町菅野	マアザミ
3 古生沼湿原植生	若桜町、兵庫県	
4 蛇ケ乢湿原	関金町、岡山県	
5 犬狭峠湿原	関金町、岡山県	

項目	所 在 地	概 要
6 俵原のミツガシワ湿原	三朝町俵原	
7 中津北尾根のミツガシワ湿原	三朝町中津	ミツガシワ純群落
8 大沢池のハンノキ林	大山町種原	ハンノキ林、ヒツジグサ、タヌキモ
9 鏡ケ成湿原	江府町	ノハナショウブ、バイケイソウ
10 神戸ノ上のハンノキ林	日南町神戸ノ上	ハンノキ林、ジャヤナギ、クサレダマ

5 特殊群落

	項 目	所 在 地	概 要
1	氷ノ山古敷岩の高山植物群落	若桜町舂米	コケモモ、コメバツガザクフ、ツガザクフ
2	布勢平神社のバイカモ水生群落	気高町殿	県名水、スダジイ林
3	田内城山のアオネカズラ群生地	倉吉市田内	
4	竹田谷の貴重植物群生地	三朝町	バイケイソウ
5	福山の滝のオサシダ群生地	三朝町福本	
6	湯谷川の貴重植物群落	三朝町湯谷	リンボク、ホソバニセジュズネノキ
7	橋津海岸の貴重植物群生地	羽合町橋津	
8	篦津〜御崎海岸のハマヒサカキ群落	赤碕町、中山町	分布北限地
9	ハマナス自生南限地帯	中山町松河原	分布南西限地
10	本宮の泉のバイカモ水生群落	淀江町本宮	県名水
11	天の真名井のバイカモ水生群落	淀江町高田	国名水
12	大山山頂部の高山植物群落	大山町	ツガザクラ、コメハツガザクフ、シフタマノキ
13	三平山麓の貴重植物群生地	江府町俣野	ミヤコアザミ

国指定天然記念物一覧

		名			称				指定年月日	所 在 地
ハ	マナ	ス	自	生	南	限	地芹	亨	T11.3.8	鳥取市白兎字白浜
倉	田	八	幡	\$	宮	社	上章	复	S 9.5.1	鳥取市馬場299
大	野 見	宿	禰	命	神	社	社 竟	隻	S 9.8.9	鳥取市徳尾字丸山80
白	兎	1	伸	社	•	樹	竟	隻	S12.12.8	鳥取市白兎
松	上神	社	の	サ	カ	キ	樹木	ŧ	S19.3.7	鳥取市松上字宮ノ谷990
鳥		取			砂		£	Ĺ.	S 30.2 3	鳥取市浜坂、福部村湯山
唐	川の	力	キ	ツ	バ	タ	群落	李	S19.3.7	唐川字大沢山 岩美町 外邑字大沢
波	波	伎	神	þ	社	社	上,	隻	S 9 . 5 . 1	倉吉市福庭字槇ノ木653
伯		(か	大	:	シ	1	1	S12.4.17	東伯町宮場字宮内屋敷
大山	山のダ	イト	ュン	++	ァフ	ボク	ク純す	木	S 27. 3.29	大山町大山 大山山頂付近
ハ	マナ	ス	自	生	南	限	地点	萨	S 58. 7.2	中山町松河原字小鯰、松河原字河原田
船	通	Щ	σ)	イ	Ŧ	f 1	ſ	S 37.7.27	日南町上萩山(船通山)

県指定天然記念物一覧

名称	指定年月日	所 在 地
矢 矯 神 社 社 叢	S31.3 6	鳥取市矢矯531番地1
意上奴神社社叢	S 59. 2.21	香取字意上谷南側奥440 鳥取市 香取字意上森前369
桂見の「二十世紀」ナシ親木	S 60. 2.22	鳥取市桂見字石ケ谷403-3
高 岡 神 社 社 叢	S34.6.5	国府町高岡字堂原
菅野ミズゴケ湿原	S 42.12.12	国府町菅野字向山84
坂 谷 神 社 社 叢	S 58. 9.27	福部村栗谷字坂谷奥389,533
坂 谷 神 社 社 叢	0.00 10 00	福部村栗谷字坂谷奥532
(追加指定)	S 63.12.23	のうち実測3,326.61㎡
弓河内の大シダレザクラ	S30.9.6	河原町弓河内252
清徳寺の巨樹名木群	S31.3.6	八東町清徳字段79
落河内の大キリシマ	S 32.2.6	河原町北村字桜谷604
長瀬の大シダレザクラ	S34.6.5	河原町長瀬字中土居306
落折のイチイ	S 40.9.28	若桜町落折字家廻り35
福本のオハツキイチョウ	S 45. 2.20	郡家町福本字上土居208
西御門の大イチョウ	S 45. 2.20	郡家町西御門字山手屋敷105
落河内のカッラ	S 48.3.30	河原町北村字倉房588
中江の一本スギ	S 48. 3.30	若桜町中原1337の1
豊乗寺のスギ	S 48.3.30	智頭町新見
田岡神社のツハキ樹林	S 48.3.30	佐治村津無字南ケイチ

名 称	指定年月日	所 在 地
若 桜 神 社 社 叢	S 57.4.9	若桜町若桜字宮ノ木
犬 山 神 社 社 叢	S 60. 2.22	用瀬町宮原字宮ノ谷288-1
西 井 神 社 社 叢	S 61.12.2	智頭町大呂字ハセコウ966-1,967
相屋神社社叢	S 58. 9.27	青谷町青谷字大平5786,5787
大日寺の大イチョウ	S31.3.6	倉吉市桜字円地坊137
坂 谷 神 社 社 叢	S 58. 9.27	福部村栗谷字坂谷奥389,533
転法輪寺の大イチョウ	S31.5.30	東伯町別宮字中屋敷472
東伯町の大イヌグス	S31.5.30	東伯町別宮字とふ田588の1
古布庄の大スギ	S 32.12.25	東伯町中津原
花倉山のヒノキ・	S 39. 3. 3	一
ホンシャクナゲ群落		工的 ^四 花倉谷468,469
関 金 の シ イ	S 48. 3.30	関金町安歩524
福本のツバキ	S 48. 3.30	三朝町福本字六良治122の 2
篦津のハマヒサカキ群落	S 48. 3.30	赤碕町篦津字城の内字下の野
マテバシイの北限地帯	H元.4.18	 赤碕町赤碕字西中条1,320-1
(智光寺の樹叢)		2016 120 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
栗 島 神 社 社 叢	S 57.4.9	米子市彦名町字粟島山
渡町西東のゴョウマツ	S 45. 2.20	境港市渡町362
佐伯氏のクロガネモチ	S 36. 2.3	西伯町福成1197
長 田 神 社 社 叢	S 36.2.3	西伯町馬場字宮ノ前
金華山熊野神社社叢	S 57.4 9	西伯町八金字金華山1229~1232
長寿寺・落合神社の樹叢	S 60.6.25	西伯町落合字檜峪
下阿毘縁神社の大シダレザクラ	S 32.12.25	日南町下阿毘縁
解脱寺のモミ並木	S 34.6.5	日南町下阿毘縁611
上石見のオハツキ・	S 45. 2.20	 日南町上石見819
タイコイチョウ		
武庫の七色ガシ	S 48. 3.30	江府町武庫1915
下蚊屋明神のサクラ	S 48. 3.30	江府町下蚊屋738ノ4
熊野神社社叢	S 48. 3.30	江府町俣野470,471
聖神社、養	S 57.4.9	日野町黒坂字宮山1794~1796
根雨神社社叢	S 59. 2.21	日野町根雨487-1,487-2,697,698
楽 楽 福 神 社 社 叢	S 60. 2.22	字宮ノ下モ1492-1,1494-1 日南町印賀 字宮山1693-1,1693-2,1695
洲 河 崎 の カ ツ ラ	H元 4 18	江府町汌河崎字後山1149

資料37 鳥取県内に生息している「我が国における保護上重要な動物種」

絶滅危惧種(絶滅の危機に瀕している種または亜種)

	類	別		種		名		生 息 状 況
鳥		類	コ	ウ	1	ŀ	ij	鳥取市千代川や米子市彦名干拓地などにときおり飛来する 程度。
			1	ヌ		ワ	シ	県東部の陣鉢山〜扇ノ山、佐治村高鉢山周辺で繁殖。個体 数は非常に少ない。
			オ	ジ	П	ワ	シ	彦名干拓地、湖山池、水尻池、千代川などに冬鳥として少 数個体が訪れる。
			ク	マ		タ	力	県下一帯の自然度の高い山域で繁殖が確認されている。個 体数は少ない。
			ヤ	イ 「	1 -	£з	ウ	夏鳥として大山町明間、三徳山、若桜町諸鹿などで記録さ れる。繁殖は未確忍。
昆	虫	類	オス	トウァキ	ドンリ	ヒョウ	モン	大山周辺で記録されていたが、現在でははとんど絶滅状態。

危急種(絶滅の危険が増大している種または亜種)

	類	別			種		名		生息 状 況
鳥		判	頁	力:	ンム!	リカ ~	イツ	ブリ	冬鳥として県下の湖沼や河口に飛来。個体数は多い。
				ツ	ク	シ	ガ	モ	冬鳥として彦名干拓地に毎シーズン10数羽が飛来、越冬す る。
				₹		サ		ゴ	留鳥。各地の河口、湖沼に飛来し周辺の低山地で繁殖する が個体数は少ない。
				オ	7		ワ	シ	稀な冬鳥として日野川、彦名干拓地、賀露海岸で記録され ている。
				オ	-		タ	力	留鳥。低山地の森林で繁殖している。
				チ			ウ	Ł	稀な冬鳥として湖山池、千代川、彦名干拓地で記録されて いる。
				ハ	†	•	ブ	サ	留鳥。海岸の崖地などで繁殖。個体数は少ない。
				^	 ラ		シ	ギ	旅鳥として鳥取砂丘、千代川河口、天神川河口などに稀に 飛来。
淡	水	魚紫	頁	ゴ				ギ	西伯町上中谷の赤谷と日南町印賀川下阿毘縁周辺で生息が 確認されている。
昆	虫		頁	ギ	フ	チ	Э	ウ	各地の丘陵や山地に生息。個体数も比較的多い。
				Ł	ョウ	モン	/ モ	ドキ	大山から氷ノ山にかけての山地草原に局地的にみられたが、生 息地が牧草地化等ではとんど消失。絶滅が心配されている。
				タ		ガ		メ	平野部から山間にかけての止水、静水域に生息。生息状況 は比較的良好。

希少種(存続基盤が脆弱な種または亜種)

類別	種名	生 息 状 況
哺 乳 類	ホンドモモンガ	広島・岡山との県境沿い山地に生息。
	ヤマネ	大山、氷ノ山~扇ノ山山系に生息。
鳥類	チュウサギ	夏鳥として飛来。米子市愛宕町山地や倉吉市向山で繁殖する。
	ミゾゴイ	夏鳥。大山〜船上山にかけての山中で繁殖するが個体数は 少ない。
	ヘラサギ	全国的には稀な冬鳥だが、彦名干拓地では1982年からはぼ 毎シーズン越冬。
	クロツラヘラサギ	全国的には稀な冬鳥だが、彦名干拓地では1984年からほぼ 毎シーズン越冬。
	マガン	冬鳥として彦名干拓地ほかで越冬。彦名干拓地での越冬個 体数は多い。
	ヒシクイ	冬鳥として彦名干拓地や水尻池周辺で観察される。個体数 は少ない。
	コハクチョウ	冬鳥。彦名干拓地や天神川・千代川下流域などで観察される。個体数も多い。
	アカツクシガモ	冬鳥として境港市と彦名干拓地にごく少数が飛来。
	オシドリ	平野部では冬鳥だが、自然度の高い山地では留鳥として繁 殖が見られる。
	トモエガモ	冬鳥として多鯰ヶ池に飛来。個体数は少ない。
	シノリガモ	冬鳥。鳥取市賀露海岸や淀江・大山町の海岸沖に飛来。
	ハイタカ	大山以東の山地で繁殖。冬鳥として彦名干拓地などにも飛 来。
	オオジシギ	旅鳥として大山周辺や扇ノ山などで見られる。
	セイタカシギ	旅鳥として夏期に彦名干拓地や湖山池周辺を訪れる。個体 数は非常に少ない。
	コアジサシ	夏鳥。日野川・天神川・千代川などの河口付近で集団で営 巣する。
	ブッポウソウ	スギ林の多い山地の森林に夏鳥として飛来、繁殖する。個 体数は少ない。
	コジュリン	大山で繁殖が確認されている。
両生類 爬虫類	タイマイ	日本海沿岸沖に生息。
	アカウミガメ	日本海沿岸沖に生息。前種より確認例は多い。
	オオサンショウウオ	天神川、日野川の両水系に主要な生息域がある。
昆虫類・クモ類	ハラビロハンミョウ	千代川河口の十六本松で生息が確認されているが、生息地 は危険な状態にある。

類	別	種	名	生 息 状 況
昆虫類	クモ類	コガタ	ノゲンゴロ	ウ 泊村石脇川水系で近年の生息が確認されている。
		オオチャ	イロハナムグ	別 扇ノ山と大山で生息が確認されているが、近年個体数の減少が著しい。
		キマダ	ラルリツハ	メー生息地は散在するが、各地の平野部丘陵地に比較的多い。
		クロ	シージ	・ 県東部の山地や大山周辺などの開けた高原の疎林林縁に生息する。
		ゴマ	シッジ	県下各地の山地草原に生息するが、道路工事等により激減 している。
		オオ	ムラサ	キ 県内では各地の低山地からブナ帯まで生息地・個体数とも 比較的多い。
		キシノウ	エトタテグ	モ 鳥取市久松山に生息するが個体数は非常に少ない。
		キノボ	リトタテグ	年 県東部と中部の数カ所の神社林などで生息が確認されている。

地域個体群(保護に留意すべき地域個体群-地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの)

	類	別	種	名	生	息	状	況
哺	孚	上 類	東中国山均のツキノワ	也(氷ノ山) グマ個体群	氷ノ山周辺および マがこれに含まれ の高い山地に限ら	る。本種の		

鳥類については、迷鳥または冬鳥として非常に稀に記録されるだけの種は、この表から省略した。

温泉地名	源泉数 (A+B)	利用源(月)	A)	未利 用 泉 (B)	25℃	度 用源泉 25℃以上 42℃未満	42℃	平均 温度 ℃	ゆう出量 合 ℓ / 分	主たる泉質
※ 岩井温泉	9	1	3	5	-	1	3	46.4	1,044.2	カルシウム・ナ トリウムー硫酸 塩泉
鳥取温泉	30		18	12	_	4	14	44.6	896.5	ナトリウムー塩 化物・硫酸塩泉
※ 吉岡温泉	9	_	4	5	-	1	3	48.1	1,014.4	単純温泉
浜村温泉	24	_	15	9		2	13	53.6	987 5	ナトリウム・カ ルンウムー塩化 物・硫酸塩泉
※ 鹿野温泉	10	_	7	3		_	7	60.8	988.0	単純温泉
羽合温泉	11		7	4		1	6	54.8	1,970.0	ナトノウム・カ ルシウムー塩化 物・硫酸塩泉
東郷温泉	51		18	33		3	15	72.5	1,234.9	"
三朝温泉	94	30	42	22		18	54	53.0	2,070.9	単純放射能温泉
※ 関金温泉	24	2	16	6	1	8	9	42.9	444.8	"
皆生温泉	23	-	19	4		2	17	65.5	4,043.1	ナトリウム・カ ルシウムー塩化 物泉
その他	30	4	13	13	2	15	_	30.4	2,702.2	
計	315	37	162	116	3	55	141	53.5	17,396.5	

⁽注) (1) 平均温度は、温泉地の全ゆう出熱量を、全ゆう出量で割ったものである。

⁽²⁾ 温泉地名欄※印は国民保養温泉地指定温泉地を示す。

資料39 温泉資源保全調査状況

温泉地名	调查状況	凋 査 年 度	调 査 内 容	
皆	生	昭和52年度~54年度	凋 查 試験井掘削(3 井)	35,700
Ξ	朝	昭和55年度~56年度	調 査 試験井掘削(5井)	37,351
東郷	• 羽 合	昭和56年度~58年度	凋 查 忒験井掘削(6 井)	70,480
浜	村	昭和58年度~60年度	調 査 試験井掘削(5井)	36,298
関	金	昭和60年度~62年度	調 査 試験井掘削(4井)	48,268
鹿	野	昭和62年度~平成元年	調 査 武験井掘削(4 井)	48,414
岩	井	平成元年度~3年度	調 査 試験井掘削(3井)	43,976
吉	岡	平成3年度~5年度	凋 查 武験井掘削(4 井)	59,210
鳥	取	平成5年度~7年度	凋 查 試験井掘削(3井)	68,084

資料40 自然環境保全基礎調査成果物一覧

〈第1回自然環境保全基礎凋查〉

	凋		Į	頁	目		成果	物
自	然	<u> </u>	度	"Ja	司	査	● 現存植生図(1/200,000)(都道府県 · 53	面)
							● 植生自然度図(1/200,000)(都道府県・	53面)
す	ぐぇ	n t	こ自	然	凋	査	● すぐれた自然調査(1/200,000)(都道府	県・53面)
環	境	寄	与	度	凋	査	● 自然環境保全調查報告書(自然環境改変	变状况调查)
総	合	と	ŋ	ま	と	め	● 自然環境保全調査報告書(第1回緑の国	国勢調査)

〈第2回自然環境保全基礎凋查〉

	凋	査	項	目		成果物
植		生	凋	-	査	● 現存植生図(1/50,000)(608面)
						●植生凋查報告書(都道府県別 45冊)
						● 植生凋査報告書(全国版)
特	定	植物	群落	凋	査	●特定植物群落凋查報告書(都道府県別 47冊)
						●特定植物群落,调查報告書(全国版)
動	物	分	布,	周	査	●動物分布凋査報告書(哺乳類)(都道府県別 47冊)
						●動物分布凋査報告書(哺乳類)(全国版)
						●動物分布調査報告書(哺乳類)(全国版その2)
						●動物分布調査報告書(鳥類)(全国版)
						●動物分布凋査報告書(両生類・は虫類)(都道府県別 47冊)
						●動物分布凋査報告書(両生類・は虫類)(全国版)
						●動物分布調査報告書(両生類・は虫類)(全国版その2)
						●動物分布調査報告書(淡水魚類)(都道府県別・47冊)
						●動物分布調査報告書(淡水魚類)(全国版)
						●動物分布調査報告書(昆虫類)(都道府県別・47冊)
						●動物分布调查報告書(昆虫類)(全国版)
表	土	改変	状 況	凋	査	●表土改変状況調査報告書
湖		沼	凋		査	●湖沼凋查報告書(都道府県別·37冊)
						●陸水域関係调査報告書(湖沼)(全国版)
河		Ш	凋		査	●河川调查報告書(都道府県別·47冊)
						●陸水域関係调査報告書(河川)(全国版)
海		域	凋		査	● 干潟・藻場・サンゴ礁分布調査報告書(都道府県別 39冊)
						●海域環境調査報告書(都道府県別・39冊)
						●海域環境调査報告書(全国版)
						(海岸凋査、海域環境凋査、干潟・藻場・サンゴ礁分布凋査)
						●海域生物調査報告書(都道府県別・39冊)
						●海域凋査報告書 海域生物凋査(全国版)
l						●海域凋査報告書 海域生物凋査(凋査地区詳細垂直分布図)(全国版)

	凋	査	項	目		成	果	物		
総	合	٤	りま	ح	め	●動植物分布図(1/200,000)(都道府県別 53面)				
						●日本の自然環境				
						●第2回自然環境保全基礎凋査報告書(緑の国勢凋査)				
					i	● 第 2 回自然環境保全基礎凋査報告書(緑の国勢凋査 資料編)				

〈第3回自然環境保全基礎調査〉

調 査 項 目	成果物
植 生 凋 査	● 現存植生図(1/50,000)(685面)
	●植生,周查報告書(都道府県別 44冊)
	● 植生凋査報告書(全国版)
	● 1/3,000,000現存植生図
特定植物群落调查	◆特定植物群落凋查報告書 追加・追跡凋查(都道府県別 47冊)
	●特定植物群落凋查報告書 生育状況凋查(都道府県別 47冊)
	● 特定植物群落调査報告書(全国版)
動植物分布凋查	● 小冊子「生きもの地図ができました。」
(環境指標種凋査)	● 動植物分布调査報告書(哺乳類)
(全種調査)	●動植物分布調査報告書(鳥類)
	動植物分布凋查報告書(両生類・爬虫類)
	●動植物分布凋査報告書(淡水魚類)
	●動植物分布調査報告書(昆虫(チョウ)類)
	●動植物分布凋査報告書(昆虫(トソボ)類)
	●動植物分布調査報告書(昆虫(ガ)類)
	●動植物分布凋査報告書(昆虫(セミ及び甲虫)類)
	● 動植物分布凋査報告書(陸産及び淡水産貝類)
自然景観資源凋査	● 自然景観資源調査報告書(都道府県別 47冊)
	● 自然景観資源凋査報告書(全国版)
湖沼。遇查	● 湖沼調査報告書(地方別 7分冊)
	●湖沼調査報告書(全国版)
河 川 調 査	●河川調査報告書(地方別 8分冊)
	●河川調査報告書(全国版)
海岸調査	
海域生物環境調査	●海域生物環境調査報告書(都道府県別 39冊)
	●海域生物環境調査報告書(全国版)
総合とりまとめ	
	●第3回自然環境保全基礎調査総合解析報告書(解析編)
	●第3回自然環境保全基礎調査磁気データファイルの概要
	● 自然環境情報図(1/200,000)(都道府県別・53面)
そ の 他	
	資料「過去における鳥獣分布調査について」

〈第4回自然環境保全基礎調査〉

	凋	査	Į	頁	目		成	 果	物
植		生		凋		査	● 現存植生図(1/2,500,000)		
İ							●植生自然度図(1/2,500,000)		
							●植生凋査報告書(全国版)		
							● 植生改変図(1293面)		
巨	樹	• 🖹	木	林	凋	査	●巨樹・巨木林凋査報告書(地	方別・8分冊)	
							巨樹・巨木林凋査報告書(全	国版)	
環	境	指	標	種	凋	査	●小冊子「1990年身近な生き	の の あ 西 在 あ 西 在 結 市 の 市 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の の	果」
							●海の生きもの地図	^	
動	植	物	分	布	凋	査	●動植物分布凋査報告書(哺乳	類)	
							●動植物分布凋査報告書(鳥類)	
							●動植物分布凋査報告書(両生	類・爬虫類)	
							●動植物分布调査報告書(淡水	魚類)	
							●動植物分布调査報告書(陸産	及び淡水産貝類)	
l							●動植物分布調査報告書(陸産	及び淡水産貝類	別冊 分布図)
							●動植物分布調査報告書(昆虫	(チョウ)類)	
							●動植物分布調査報告書(昆虫	(ガ)類)	
							●動植物分布调查報告書(昆虫	(トンボ)類)	
							●動植物分布调査報告書(昆虫	(セミ及び甲虫)類	<u>(</u>
河		Ш		凋		査	●河川凋査報告書(地方別・8	分冊)	
Ĺ							●河川凋査報告書(全国版)		
湖		沼		凋		査	●湖沼凋查報告書(地方別・7	分冊)	
l							●湖沼凋査報告書(全国版)		
<u> </u>							湖沼凋查報告書(全国版・資	料集)	
海		岸		凋		査	●海岸凋査報告書(全国版)		
海	域:	生物	7 環	境	凋	査	●海域生物環境凋査報告書(干	潟)	
							●海域生物環境凋査報告書(藻	場)	
}							●海域生物環境凋査報告書(サ	,	
ļ							●海域生物環境凋査 サンゴの	集分布図(1/100,0	00)
生息	進系統	子合紹	ニタ	リン	グル	1000	●生態系総合モニタリング調査	至報告書	
総	合	٢	り	ま	と	め	● 自然環境情報図(1/200,000)		
							●第4回自然環境保全基礎調査	E総合解析報告書	(総括編)
							●第4回自然環境保全基礎調査	至総合解析報告書	(解析編)
							第4回自然環境保全基礎調	全磁気データファ	イルの概要

資料41 自然公園等施設の整備状況

(1) 国立・国定公園

年度	公 園 名	事 業 名	事業か所	事 業 内 容	事 業 費
平成元	大山隠岐国 立公園	大山駐車場整 備	大山町	屋内駐車場(第2期) 鉄骨造2階3層 A= 5,322㎡ 259台	254,085
	大山隠岐国 立公園	※大山自然科 学館整備	大山町	マルチ映像ホール増設 RC造 128㎡ マルチスフイドシステム等 一式	61,800
	āt	※(財)日本宝くし	じ協会助成	艾事業	315,885
平成 2	大山隠岐国 立公園	大山頂上周回 木道	大山町	木道 L= 332m W=1.0~4.0m サイト造園 A= 305m²	58,000
	ь†				58,000
平成 3	山陰海岸国立公園	浦富休憩舎改 築事業	岩美町	休憩舎兼公衆便所 RC造 A = 130.0m²	56,200
	大山隠岐国 立公園	大神山公衆便所(便所再整備)改築事業	大山町	公衆便所 RC造 A= 40.32m²	47,000
	小計				103,200
	大山隠岐国 立公園	公衆便所再整 備事業 (間接補助事 業一赤碕町)	赤碕町	公衆便所改築 木造 A=44.8m²	15,000
	小計				15,000
	ьt				118,200
平成 4	山陰海岸国 立公園	岩戸公衆便所 改築事業	福部村	公衆便所改築 RC造水洗 A=33m²	23,800
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	雨滝公衆便所 改修事業	国府町	公衆便所改築 RC造水洗 A=24m²	15,800
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	氷ノ山駐車場 整備事業	若桜町	駐車場整備、舗装 A=4,707m²	30,000
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	氷ノ山野営場 車道拡幅工事	"	取合道路車道拡幅 W=5.0m L=560m	55,000
	小計				124,600
	(間接補助事業) 山陰海岸国 立公園	公衆便所再整 備事業	鳥取市	公衆便所改築 RC造水洗 A=37.6m²	17,700
	小計				17,700
	ьt				

年度	公園名	事 業 名	事業か所	事 業 内 容	事 業 費
平成 5	大山隠岐国 立公園	一向平公衆便 所改築事業	東伯町	公衆便所改築木造水洗 A=42.64m²	37,000
	大山隠岐国 立公園	大平原公衆便 所改築事業	江府町	公衆便所改築木造水洗 A=43m²	33,800
	大山隠岐国 立公園	大休峠避難小 屋改築事業	大山町	木造平屋 A=33m²	31,000
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	須賀ノ山登山 道整備事業	若桜町	歩道 W=1.0∼1.5m L=2,500m 休憩舎 木造 A=30m²	32,600
	小計				134,400
	大山隠岐国 立公園	公衆便所再整 備事業	大山町	公衆便所改築木造水洗 A=21m²	12,600
	小 計				12,600
	пŤ				147,000
平成 6	大山隠岐国 立公園	大山寺園地公 衆便所改築事 業	大山町	公衆便所改築木造水洗 A=40.0m²	26,000
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	扇ノ山登山道 整備事業	八東町	歩道 W=1.0~1.5m L=2,000m 避難小屋 木造 A=48.6m ²	63,600
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	那岐山休憩所 整備事業	智頭町	休憩所木造 A=30.0m²	23,000
	小計				112,600
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	公衆便所及び 野営場再整備 事業	佐治村	公衆便所改築木造水洗 A=37.0m² 休憩所 木造 A=164.0m²	31,200
	小計				31,200
	ьt				143,800
平成 7	大山隠岐国 立公園	一向平野営場 再整備事業	東伯町	炊事棟改築木造 A=47.0㎡ テントサイト A=4,200㎡ 駐車場 A=1,050㎡	50,000
	大山隠岐国 立公園	大山夏山登山 道整備事業	大山町	歩道 W=1.0~1.5m L=2,800m	38,000
; ;	小計				88,000
	氷ノ山・後 山・那岐山 国定公園	山王滝野営場 再整備事業	佐治村	管理棟木造平屋建 A=108.0㎡ 炊事棟改築木造 A=62.0㎡ テントサイト A=4,100㎡	72,000

年度	公園名	事 業 名	事業か所	事 業 内 容	事 業 費
平成	小計				72,000
7	ь†				160,000
平成	大山隠岐国 立公園	一向平野営場 再整備事業	東伯町	炊事棟新築木造 A=50.9㎡ 公衆トイレ木造水洗 A=54.1㎡ テントサイト A=6,600㎡ 駐車場 A=1,471㎡	90,000
	大山隠岐国 立公園	大山登山道標	大山町	標識 15基	20,000
	小計				110,000
		三徳山ふるさ と自然のみち 整備事業		歩道 W=1.0~1.5m L=1,252m 休憩所 木造 A=10m² 2 棟	30,000
	小計				30,000
	n†				140,000
平成	大山隠岐国 立公園	一向平野営場 再整備事業	東伯町	管理棟新築木造 A=104.8m² 給水施设一式	60,000
	大山隠岐国立公園	大山頂上植生 復元施设整備	大山町	浸食溝埋戻し 69.3m³	30,000
	大山隠岐国 立公園	大山槙原駐車 場整備	大山町	駐車場 A=14,088m²	215,412
	小計				305,412
	山陰海岸国立公園	城原網代歩道 整備	岩美町	歩道 W=1.0m L=392m 標識一式	30,000
	小計				30,000
		三徳山ふるさ と自然のみち 整備事業	三朝町	ウォーキングセンター新築木造 180㎡ 駐車場 A=2,000㎡ 休憩所木造 10㎡ 園地 A=3,000㎡	69,000
	小 計				69,000
	a†				404,412

(2) 県立公園(単県補助事業)

年度	公園名	事 業 名	事業か所	事 業 内 容	事 業 費
平成元	三朝東郷湖 県立自然公 園	小鹿渓歩道	三朝町	探勝歩道 L=242.9m W=1.0~1.5m	_{7,004}
	三朝東郷湖県立自然公園	大平山園地	倉吉市	園地整備 テントサイト 7基	3,000
	奥日野県立 自然公園	花見山歩道	日南町	登山歩道 L=652m W=1.5m	3,166
	ьt				13,170
2	西因幡県立自然公園	勝山城跡歩道	気高町	歩道整備 歩 道 L=115m W=1.0~1.5m 休 憩 舎 木造 A=10.5m ²	3,501
	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道	鹿野町	登山道新設 L=489.5m W=1.0∼1.5m	4,391
	奥日野県立 自然公園	塔の峰公園	日野町	休 憩 舎 木造 A=20.0m²	2,500
	a†				10,392
3	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道	鹿野町	登山道新设 L=815.8m W=1.0m	4,199
	奥日野県立 自然公園	塔の峰公園	日野町	防 護 栅 77m テーブル、ベンチ 1 式	4,223
	奥日野県立 自然公園	花見山休憩舎	日南町	休 憩 舎 木造 A=16.0m²	2,005
	.t				10,427
4	西因幡県立 自然公園	勝山城跡歩道	気高町	歩道新設 W=1.0m L=330m W=2.0m L= 32m	2,009
	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道	鹿野町	登 山 道 W=1.5m L=656.7m 東屋1、指導標3、案内板1	6,129
	西因幡県立 自然公園	長尾岬歩道	青谷町	歩道新设 W=1.5m L=336.1m	9,044
	三朝東郷湖県立自然公園	三徳山歩道	三朝町	歩道新設 W=1.0~1.5m L=140m	5,000
	奥日野県立 自然公園	花見山駐車場	日南町	駐車場整備 A=3,429m²	8,348
	n†				30,530
5	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道 標識	鹿野町	登山道 案内板 14基	3,016

Are the	7 ET 6	± * *	事業	# # H G	本 米
年度	公園名	事 業 名 	か所	事 業 内 容 —————————————————————————————————	事業費
平成 5	西因幡県立 自然公園	長尾岬歩道	青谷町	歩道 W=1.5m L=71.8m	9,041
	三朝東郷湖 県立自然公 園	三朝温泉歩道 駐車場	三朝町	駐車場 A=465m ²	4,102
	奥日野県立 自然公園	石霞渓園地	日南町	休憩舎 木造 2 棟 公衆便所 木造 1 棟	10,319
	<u>.</u> †		i		26,478
6	西因幡県立 自然公園	長尾岬歩道	青谷町	歩道 W=1.5m L=164m	7,895
	三朝東郷湖 県立自然公 園	勝山城跡駐車場	気高町	駐車場舗装 A=328m²	2,065
	三朝東郷湖 県立自然公 園	大平山園地	倉吉市	歩道 W=2.0~3.0m L=332m 駐車場舗装 A=650m ²	6,077
	†				16,037
7	西因幡県立 自然公園	勝山城跡車道	気高町	歩道 W=3.5m~5.3m L=127m	2,513
	三朝東郷湖 県立自然公 園	太平山園地	倉吉市	歩道舗装 W=1.6m L=250m ベンチ 3基	4,762
	奥日野県立 自然公園	石霞渓歩道	日南町	歩道 W=1.5m L=18.5m 標識 1基	5,005
	rt.				12,280
8	三朝東郷湖 県立自然公 園	太平山園地	倉吉市	給排水施设一式 木段 25段・ベンチ 1基	7,200
	奥日野県立 自然公園	滝山園地	日野町	休憩所木造 A=41.6m²	10,023
	ր†				17,223
9	三朝東郷湖県立自然公園	大平山園地	倉吉市	公衆トイレ水洗化	13,780
	西因幡県立 自然公園	浜村砂丘	気高町	駐車場整備 600m²	3,000
	n†				16,780

(3) 中国自然歩道

年度	整備路線名	事業か所	事 業 内 容	事 業 費
平成	川床 • 一向平	大 山 町東 伯 町	歩道 W=1.0∼1.5m L=2,880m 標識 L=6,220m	10,000
	羽衣石•浜坂	東三鹿鳥町町町市	歩道 W=1.5m L=1,647m 標識 L=24,850m	12,000
	at			22,000
5	岩戸·大谷	福 部 村岩 美 町	歩道 W=1.0∼1.5m L=3,770m 休憩舎 木造 A=20㎡	20,000
	岩常•美歎	岩美町国府町	標識整備 L=37.9km 休憩舎 木造 A=20m²	12,000
	"†			32,000
6	姫路・扇ノ山	郡家町	歩道 W=1.0∼1.5m L=1,780m 標識整備 L=1.7km	28,200
	at			28,200
7	雨滝・扇ノ山	国府町	歩道 W=1 0~1.5m L=2,000m 標識整備 L=11.0km	30,000
	羽衣石公衆便所	東郷町	公衆便所改築木造A=22.0m²	17,100
	ьt			47,100
8	川 床 • 赤 松	大 山 町	歩道 W=1.0~1.5m L=1,300m 標識整備 L=12.1km	30,000
	三徳山公衆便所	三朝町	公衆便所改築木造 A=22.1m²	20,100
	n†			50,100
9	芦 津	智 頭 町	歩道 W=1.0∼1.5m L=2,200m 標識一式	20,000
	=†			20,000

資料42 自然科学館の利用状況

施設名年度	大山自然科学館	山陰海岸自然科学館	a†
62	65,600	13,046	78,646
63	67,792	19,413	87,205
元	75,598	14,974	90,572
2	87,247	13,872	101,119
3	73,530	15,772	89,302
4	71,618	15,125	86,743
5	70,965	14,685	85,650
6	91,670	11,033	102,703
7	82,250	10,432	92,682
8	57,090	9,335	66,425
9	54,342	8,739	63,081

資料43 自然解説実績

区分	大 山 自	然 解 战	山陰海岸	自 然 解 说
年度	日 数	参 加 者	日 数	参 加 者
62	55	2,080	9	287
63	55	2,254	9	292
元	53	2,250	8	285
2	52	2,291	7	292
3	55	2,341	7	224
4	56	2,432	6	266
5	57	1,158	6	152
6	60	1,009	8	118
7	48	965	5	585
8	30	840	4	79
9	28	539	4	126

資料44 自然観察指導員 自然体験リーダー研修実績

年 度	期日	場所	参 加 者
平 成 3	平成3年10月19日~20日	江府町(鏡ヶ成)	4 5 名
4	平成4年8月29日~30日	鳥取市・岩美町(牧谷)	5 1 名
5	平成 5 年10月30日~31日	倉 吉 市 ・ 三 朝 町	4 3 名
6	平成 6 年10月15日~16日	江府町 (鏡ヶ成)	4 3 名
7	平成7年7月22日~23日	鳥取市(鳥取砂丘)	2 1 名
8	平成8年6月15·16日 7月13·14日	江府町(鏡ケ成)	4 2 名
9	平成9年6月14·15日 7月19·20日	赤碕町(船上山)	3 7 名

資料45 公害関係事犯検挙状況

(平成9年中)

	法令法	廃勇処	美物 理	水浴	蜀法	砂 採 ^取	利文法	河丿	川法		畜法	自公園	然園法	漁法		海岸	岸法			自然境份	然環 呆全 例	合	<u>"</u> †	前同	
署 別		件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
岩	美	1	1											0	0							1	1	0	0
鳥	取	5	3											2	3							7	6	0	0
郡	家	4	4											0	0							4	4	2	3
智	頭	0	0											0	0							0	0	1	1
浜	村	1	1											0	0							1	1	2	2
倉	吉	2	2											0	0							2	2	0	0
八	橋	0	0											3	2							3	2	0	0
米	子	9	12											0	0							9	12	3	1
境	港	2	2											0	0							2	2	0	0
溝	П	0	0											0	0							0	0	3	3
黒	坂	2	2											0	0							2	2	1	2
合	_{,†}	26	27											5	5							31	32	/	/
前年	F 同 期	10	10										_	2	2							/	/	12	12

公害苦情取扱い状況

(平成9年中)

措置	문제		_	公害和	锺別	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	振動	地盤沈下	悪臭	廃棄物	その他	合
受		理		 牛	 数		3				2	27		32
	話	合い	あ	っせ	ん									
措	警	告	•	指	 導									
罒	検				挙							26		26
置	他	機	関	通	報						2			2
別	措	置		不	能		3					1		4
	そ		の		他									
前	年	苦 情	受	理件	数		5				3	10		18

平成9年から騒音統計未集計のため、騒音欄の前年苦情受理件数を0 (-180減) で集計した

資料46 県内石油製品年度別使用量の推移

(単位 k1)

	製品別			ジェット						燃料油
年月	度	揮 発 油	ナフサ	燃料油	灯 油	軽 油	A 重油	B重油	C重油	合 計
2	使 用 量	244,877	0	29,730	131,673	214,624	150,951	378	136,013	908,246
年	(構成比)	(27.0%)	(0%)	(3.3%)	(14.5%)	(23.6%)	(16.6%)	(0.04%)	(11.7%)	(100.0%)
度	前年伸率	4.2	_	28.4	14.7	2.8	4.6	△81.0	$\triangle 1.5$	4.9
3	使 用 量	251,998	0	28,328	131,213	231,102	162,858	4	137,275	942,778
年	(構成比)	(26.7%)	(0%)	(3.0%)	(13.9%)	(24.5%)	(17.3%)	(0.0%)	(14.6%)	(100.0%)
度	前年伸率	2.9	_	△4.7	△0.3	7.7	7.9	△98.9	0.9	3.8
4	使 用 量	260,809	0	26,220	133,972	236,191	162,979	0	131,764	951,935
年	(構成比)	(27.4%)	(0%)	(2.8%)	(14.1%)	(24.8%)	(17.1%)	(0.0%)	(13.8%)	(100.0%)
度	前年伸率	3.5	1	△7.4	2.1	2.2	0.1	皆減	△4.0	1.0
5	使 用 量	268,654	0	26,804	148,103	247,982	178,035	0	132,587	1,002,165
年	(構成比)	(26.8%)	(0%)	(2.7%)	(14.8%)	(24.7%)	(17.8%)	(0.0%)	(13.2%)	(100.0%)
度	前年伸率	3.0	_	2.2	10.5	5.0	9.2	_	0.6	5.3
6	使 用 量	281,047	0	24,660	142,659	266,456	191,963	0	147,434	1,054,219
年	(構成比)	(26.7%)	(0%)	(2.3%)	(13.5%)	(25.3%)	(18.2%)	(0.0%)	(14.0%)	(100.0%)
度	前年伸率	4.6	1	△6.9	△3.7	7.4	7.8		11.2	5.2
7	使 用 量	287,735	0	27,966	165,949	269,289	171,848	0	140,191	1,062,978
年	(構成比)	(27.1%)	(0%)	(2.6%)	(15.6%)	(25.3%)	(16.2%)	(0.0%)	(13.2%)	(100.0%)
度	前年伸率	2.4	-	13.4	16.3	1.1	△10.5		△4.9	0.8
8	使 用 量	297,608	0	27,969	163,445	278,521	163,245	0	137,071	1,067,859
年	(構成比)	(27.9%)	(0%)	(2.6%)	(15.3%)	(26.1%)	(15.3%)	(0%)	(12.8%)	(100.0%)
度	前年伸率	3.4	_	0	△1.5	3.4	5.0		△2.2	0.5
9	使用量	307,726	0	26,244	148,880	279,571	180,422	0	149,078	1,091,921
年	(構成比)	(28.2%)	(0%)	(2.4%)	(13.6%)	(25.6%)	(16.5%)	(0%)	(13.7%)	(100.0%)
度	前年伸率	3.4	_	△6.2	△8.9	0.4	10.5	_	8.8	2.3

⁽注) 「エネルギー生産・需給統計年報」(通商産業大臣官房凋査統計部)より抜すい

資料47 県内自動車保有台数の推移

(鳥取陸運支局凋べ)

年月		平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	
		3 月 末	3 月末	3 月 末	3 月 末	3 月末	3 月末	3 月末	3 月末	
台	数	336,478	348,071	357,992	369,072	381,021	394,471	406,120	413,884	

資料48 公害防止管理者等の設置を必要とする工場

(平成10年4月現在)

	 特 定	工 場	特定工場が設置	すべき公害防	止管理者等
区分	特定工場	特定工場の規模	公害防止管 理者の種類	公害防止 統 括 者	公 害 防 止 主任管理者
大気	有害物質を排出する施設を設置	排出ガス量 4 万N㎡/時以上	大気関係第1種公害防止管理者		
関係人ば	している工場	排出ガス量 4 万N㎡/時未満	大気関係第2種 公害防止管理者		
気い 汚煙 染対	上記以外の工場 で排出ガス量	排出ガス量 4 万N㎡/時以上	大気関係第3種公害防止管理者		排出ガス
防象 止場	1万N㎡/時 以上の工場	排出ガス量 4 万N㎡/時未満	大気関係第4種 公害防止管理者		4万Nm³/時 以上でかつ
水質	有害物質を排出する施設を設置	排出水量 1万㎡/日以上	水質関係第1種 公害防止管理者		排 出 水 量 1万 m³ / 日 以上の工場 に設置
関係(9 る他 成を 設 直 している工場	排出水量 1万㎡/日未満	水質関係第2種 公害防止管理者		
質 汚象 濁	上記以外の工場 で排出水量	排出水量 1万㎡/日以上	水質関係第3種 公害防止管理者	常時使用する	
防工 止 法 	1 千㎡/日 以上の工場	排出水量 1万㎡/日未満	水質関係第4種 公害防止管理者	従業員が21人 以上の工場に 设置	
騒音 関係	機械プレス(呼び t 以上のもの)又	く指定地域において 加圧能力が100重量 は鍛造機(落下部分 のハンマー)を設置	騒音関係公害 防 止 管 理 者	以但	
一粉関 じ 般ん係	大気汚染防止法の ん発生施みを設置	対象となる一般粉じ している工場	一般粉じん関係 公害防止管理者		
特粉関 じ 定ん係	大気汚染防止法の ん発生施設を設置	対象となる特定粉じしている工場	特定粉じん関係 公害防止管理者		
振動関係	液圧プレス(矯正 し、呼び加圧能力 もの)、機械プレ 100重量 t 以上の	く指定地域において プレスを除くものと が300重量 t 以上の ス(呼び加圧能力が もの)又は鍛造機 ら1 t 以上のハンマー) 場	振動関係公害 防 止 管 理 者		

資料49 環境関係用語の解説

赤潮・アオコ(青粉)

水中にプランクトンが異常発生し、そのために水の色が赤みがかった色(赤潮)や緑色(アオコ)に 変る現象のこと。

悪臭物質

アンモニア、メチルメルカプタンその他の不快な臭いの原因となり、生活環境をそこなうおそれのある物質で悪臭防止法施行令に定める22物質をいう。(アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、トリメチルアミン、二硫化メチル、アセトアルデヒド スチレン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸、プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、ノルマルバレルアルデヒド、イソ レルアルデヒド イソブタノール、酢酸エチル、メチルイソブチルケトン、トルエン、キシレン)

アメニティ (Amenity)

私達の生活環境を構成する自然や施設、歴史的、文化的伝統などが互いに他を活かし合うようにバランスがとれ、その中で生活する私達人間との間に真の調和が保たれている場合に生ずる好ましい感覚をいう

亜硫酸ガス (SO₂)

硫黄酸化物(SOx)の中で二酸化硫黄のことをいい、石炭や石油を燃焼することにより発生する。 色はなく 刺激臭の強い気体で呼吸器を刺激し、喘息の発生を促進したり 植物を枯らしたりすること がある。

硫黄酸化物(SOx)

刺激臭の強い腐蝕性のある有害な硫黄ガスのことで、亜硫酸ガス (SO₂) のほかに無水硫酸 (SO₃) 等がある。大気汚染防止法施行令でばい煙中の硫黄酸化物の量が規制されている。

一酸化炭素

炭素含有物が不完全燃焼したときに発生する無色、無臭のガスで、主な発生源は自動車排気ガスといわれる。体内に吸入されると、血液中のヘモグロビンと結びつき酸素の補給を妨げ貧血を起こしたり中枢神経を麻痺させたりする。

上乗せ基準

ばい歴又は排出水の排出の規制に関して、法で定めた一律の基準又は排出基準に代えて適用するものとして、都道府県知事が条例で定める、より厳しい基準をいう

SS (Suspended Solid)

水中の浮遊物質のことで、水の濁りの原因となる。空中の浮遊物質には粉じん、ばい煙等の語を使う

MPN (最確数 Most Probable Number)

大腸菌群の数を確率論的に算出する方法、水中の大腸菌群数は、通常この方法で表わされる。

温室効果ガス

大気中に含まれる二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロンなどの気体には、太陽光線を素通りさせる一方、地表から宇宙に放出させる熱の一部を吸収して地表を暖める働きがある。

環境影響評価(環境アセスメント)

各種開発行為の実施に先立ち、それが大気、水質、生物等環境に及ばす影響について調査、予測、評価を行い必要な環境配慮を実施することをいう

環境管理計画

地方公共団体が大気、水質、自然環境などを将来にわたり守り 適切に利用していくため策定する計画である。

この計画には、望ましい地域環境のあり方、それを実現するための基本的な方策、その方策を具体化する手順などが示される。

環境基準

環境基本法に基づき政府が設定する、人の健康を維持し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準。大気の汚染、水質汚濁、土壌汚染及び騒音について環境基準が定められている。

環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)

近年、環境中に存在するいくつかの化学物質が、動物の体内のホルモン作用をかく乱することを通じて、生殖機能を阻害したり、悪性腫瘍を引き起こすなどの悪影響を及ぼしている可能性があるとの報告が科学者等によってなされている。このような作用を持つ化学物質が内分泌かく乱化学物質である。 ト

環境マネジメントシステム

事業者が、主体的に環境保全に関する取組を進めるに当たり環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを環境管理(環境マネジメント)といい、このための工場や事業場内の体制 手続等を環境マネジメントシステムという 環境マネジメントシステム規格として、ISO14000シリーズ、EMASなどがある。

環境ラベル(エコラベル)

製品等が環境に与える影響に関する属性情報をラベルの形で表示することにより 製品の差別化を行 うもの。我が国での一例としてエコマークがある。

健康項目

水質汚濁物質の中で人の健康の保護に関する項目として環境基準が定められている項目をいい、現在カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シスー1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウフム、シマジン、チオベンカルブ ベンセン、セレンが定められている。

光化学オキシダント

自動車の排気ガスなどに含まれている窒素酸化物とガス状の炭化水素が太陽光線の紫外線のもとで化学反応をおこし、生成される酸化性の強い物質の総称。このオキシダントはオゾンを主体とし、スモッグを形成し、"目がいたい"せきこむ""呼吸が苦しい などの症状を引きおこす。

最終処分場

一般廃棄物及び産業廃棄物を埋立て処分するに必要な場所及び施设・設備の総体をいう。産業廃棄物 処分場には、安定型(廃プラスチック等) 管理型(汚でい等) しゃ断型(有害物質を含む廃棄物) がある。

酸性雨

化石燃料の使用等によって発生する硫黄酸化物や窒素酸化物等の影響によって発生する酸性の強い (p H5.6以下) の雨をいう

COD (化学的酸素要求量 Chemical Oxygen Demand)

湖沼や海域の有機物による汚濁の程度を示すもので、水中の汚濁物質を酸化剤で化学的に酸化すると

きに消費される酸素量をいい、数値が高いはど汚れが大きいことを示している。

浄化槽

水洗し尿を沈でん分離あるいは微生物の作用による腐敗又は酸化分解等の方法によって処理し、それを消毒し、放流する施設をいう。水洗し尿のみを処理する施設を単独浄化槽、水洗し尿及び生活雑排水 (厨房排水、洗たく排水等)を一緒に処理する施設を合併浄化槽という

振動レベル

振動の加速度をデシベル(dB)で表した加速度レベルに振動感覚補正を加えたもので、単位としては、デシベル(dB)が用いられる。通常振動感覚補正回路をもつ公害用振動計により測定される。

水準点

土地の標高を表す標石で、水準測量の基準として用いられている。地盤の変動状況を測定するには、この水準点を用い、標高の変化を精密水準測量によって測り 変動を出す。

生活環境項目

水質汚濁物質の中で生活環境に悪影響を及ばすおそれのあるものとして環境基準に定められた項目をいい、現在pH、DO、BOD、COD、SS 大腸菌群数、油分等が定められている。

なお、水質汚濁防止の排水基準にはこのはかに、窒素含有量、燐含有量、フェノール類、銅、亜鉛、 鉄、マンガン、クロム、弗素が加えられている。

精密水準測量

最も精度の高い水準測量で、地盤沈下や地殻変動等の調査のために実施される。精密レベルと精密標 尺を用い、誤差ができるだけ消去されるように、又、最も小さくなるような測定方法がとられている。

騒音レベル

JISに規定される騒音計で測定して得られるホン、又はdB(デシベル)数である、騒音の大きさを表すものである。一般には騒音計の聴感補正回路A特性で測定した値をホン、又はdB(A)で表彰。 騒音の規制基準等はすべて騒音レベルによる。

総量規制

一定の地域内の汚染(濁)物質の排出総量を環境保全上許容できる限度にとどめるため、工場等に対し汚染(濁)物質許容排出量を割りあてて、この量をもって規制する方法をいう 個々の発生源に対す

る従来の規制のみでは地域全体として、健全な生活環境を維持することが困難な場合に、その解決手段として総量規制の方式がとられている。

大腸菌群数

大腸菌群は、人間又は動物の排泄物による水の汚染指標として用いられている細菌である。大腸菌には温血動物の腸内に生存しているものと、草原や畑などの土中に生存しているものがあるが、一括して 大腸菌群として測定している。

WECPNL(うるささ指数 Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level)

航空機騒音のうるささを表す指数として用いられる。これは、1日の航空機騒音レベルの平均と時間 帯ごとに重みづけされた飛行回数から算定され、航空機の総騒音量を評価する単位である。

窒素酸化物(NOx)

石油、ガス等燃料の燃焼に伴って発生し、大気中には主として一酸化窒素(NO)と二酸化窒素(NO2)が存在し、主な発生源は工場、自動車等である。窒素酸化物は人の呼吸器やねん膜に影響を与えるだけでなく光化学スモッグの原因物質の一つである。

中間処理

廃棄物の最終処分に先だって行われる人為的な操作等をいい、廃棄物を安全かつ安定した状態に変化させる、又は廃棄物を減量化する目的で行われる。主な方法としては、焼却、中和、溶融、脱水、破砕、 圧縮等がある。

ダイオキシン類

ダイオキシン類とは、有機塩素化合物のポリ塩化ジベンゾ ラジオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)の総称である。

ダイオキシン類は、塩素と有機物が熱で反応する過程で発生し、塩素の数やつく位置によって210種類がある。

低公害車

従来のガソリン車やディーゼル車に比べて、排出ガス中の大気汚染物質の量や騒音が大幅に少ない電気自動車、メタノール車、天然ガス車、ハイブリッド車等のことをいう

テトラクロロエチレン

- (1) パークレン、パークロロエチレン、四塩化エチレンとも呼ばれ、不燃性で洗浄能力が優れているため、ドライクリー—ングに大半が使用され、金属部品の洗浄や繊維の精錬加工においても使用されている。
- (2) 無色の液体で、エーテルのような臭いがある。高濃度の場合、眼・鼻・のどを刺激する。蒸気を吸引すると、麻酔作用があり 頭痛 めまい 意識喪失を起こす。また、ガンの原因にもなるといわれている。

DO(溶存酸素 Disolved Oxygen)

水中に溶けこんでいる酸素の量のこと。

水の自浄作用や水中生物の生存には欠くことのできないもので、きれいな河川水中には普通1ℓ中に 7~14mg程度あるが、有機物の流入量が多くなり 汚濁が進行するとそれらに消費されて減少する。

トリクロロエチレン

- (1) トリクレン、三塩化エチレンとも呼ばれ、不燃性で脱脂能力が優れているため、金属部品の洗浄に 大半が使用され、接着剤や塗料の溶剤としても使用されている。
- (2) 無色の水より重い液体で、クロロホルムのような臭いがある。眼・鼻・のどを刺激する。蒸気を吸引すると、頭痛 めまい 吐き気及び貧血 肝臓障害を起こす。また、ガンの原因にもなるといわれている。

n-ヘキサン抽出物質(油分)

動植物油脂、脂肪酸、ワックス、グリース、石油系炭化水素など油分の総称である。海水や工場排水などをn-ヘキサンで抽出し、n-ヘキサン可溶性物質として定量して、 mg/ℓ で表す。

m³N (ノルマル立方メートル)

- (1) 気体は、圧力と温度により体積が変化する。このため、気体の量の比較を行う場合には、圧力と温度を同じ条件にしておかなければならない。
- (2) m³N (m³Normalの略) は、圧力1気圧、温度0℃の状態(これを標準状態という) における気体の体積をm³で表した単位で、これにより気体の量の比較が可能となる。
- (3) 温度 J \mathbb{C} 、圧力 P 気圧の状態における気体の体積を V_1 m^3 とすれば、標準状態における体積 V_2 m^3 N は、次の式によって得られる。

$$V_2 = \frac{273 \times P \times V_1}{J + 273}$$

ばい煙

燃料その他の物の燃焼等により発生する硫黄酸化物、ばいじん及び有害物質の総称である。ばいじん とはボイラーや電気炉等から発生する、すすや固体粒子をいい、有害物質とは物の燃焼、合成、分解等 に伴って発生するカド ウム、塩素、弗素、鉛、窒素酸化物等の人の健康又は生活環境に有害な物質を いう。

PRTR(環境汚染物質排出 移動登録)Pollutant Release and Tranfer Resister

事業者が規制・未規制を含む潜在的に有害な幅広い物質について、環境媒体(大気、水、土壌)別の 排出量と廃棄物に含まれての移動量を自ら把握し、何らかの形で集計し、公表するもの。国際的に導入 が推奨されており 我が国においても政府が国会に制度化法案を提出している。

火格子面積

焼却炉等のごみ層、火層に接して乾燥、燃焼等を行わせる火床部分を火格子(ロストル)といい、この水平投影面積を火格子面積という 炉の大きさを代表する寸法としてよく使われる。

BOD (生物化学的酸素要求量 Biochemical Oxygen Demand)

河川水等の有機物による汚濁の程度を示すもので、水の中に含まれている有機物が微生物によって酸化分解される時に消費される酸素の量をいい、数値が高い程有機物の量が多く汚れが大きい。

PCB(ポリ塩化ビフェニール)

DDTやBHCと同じ有機塩素系化学物質で、不燃性で熱に強く、絶縁性にすぐれている。カネ 油症事件等PCB被害が問題となり、現在我が国では製造を中止され、使用も限定されている。

pH(水素イオン濃度)

溶液中の水素イオン濃度を示す尺度で、pH値が7のときを中性、これより数値の高い場合をアルカリ性、低い場合を酸性という

ppm

tak、 μ gは百万分の1g ngは10億分の1g、pgは1兆分の1gである。

富栄養化

湖水中に栄養塩類(窒素、燐等)が少なく生物生産(プランクトンの増殖等)の少ない湖を貧栄養湖 といい、栄養塩類が多く生物生産の多い湖を富栄養湖という 貧栄養湖から富栄養湖へと変化していく 現象を富栄養化という

浮遊粒子状物質

大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が10 クロン以下のものをいう

特定フロン

塩素、フッ素、炭素の化合物でクロロフルオロカーボンと呼ばれ、CFCと表されており 冷蔵庫、カーエアコン等に使用されている。

フロン

フッ素と炭素の化合物の総称で、冷房等に使用されている。フロンには、オゾン層を破壊する力の強いクロロフルオロカーボンやその代替物質として使用されるハイドロクロロフルオロカーボン、ハイドロフルオロカーボン等の種類がある。

ベンゼン

- (1) ペンゾールとも呼ばれ、合成ゴム、合成皮革、合成洗剤、有機顔料等多様な製品の合成原料として 使用されているが、生産量の約半分はスチレンモノマーの原料として使用されている。ガソリン中に も 1 %前後含まれている。
- (2) 特有の芳香臭を持つ水より軽い無色の液体で、水に溶けにくいが、有機溶媒には良く溶ける。また、 揮発性が強く引火性があり、光、空気に対しては安定であるが、生分解は可能である。高濃度のベン ゼンを急性暴露すると、めまい、嘔吐、頭痛、ねむけ、よろめき、平行感覚減少、昏睡など主に中枢 神経系統に影響を受ける。

この白書の執筆は、次の各踝があたり 生活環境部環境政策課がそのとりまとめにあたりました。

総務部 税務課

企 画 部 企画课

福祉保健部 児童家庭课

生活環境部 環境政策課、廃棄物対策課、県民生活課、景観自然課

商工労働部 商政课、経営流通课、工業振興课、観光课

農林水產部農政果、経営指導果、農産園芸果、耕地果、農村整備果、森林保全果、漁港果、水産果、

畜産課、林務課、大規模活性化プロジェクト推進室

土 木 部 管理课、下水道课、住宅课、建築课、河川课、道路课、港湾课、都市計画课

教育委員会 総務课、小中学校课、高等学校課、文化课

警察本部 生活安全部生活保安课